

2004

おまえざき

市議会だより



浜名湖花博なぶら太鼓



みどりの少年団



御前崎市消防団査閲大会



浜名湖花博御前崎市箱庭

創刊号

平成16年7月発行
御前崎市議会

- 議会構成…………… 2
- 市政に対する一般質問…………… 3
- 委員会報告…………… 9
- 編集後記…………… 12

新しい議会構成決まる

正副議長のプロフィール



初代議長
柳沢重夫

旧浜岡町議
平成11年初当選（3期）
元副議長、文教厚生副委員長
原子力副委員長

◎好きな言葉
友愛、信義

◎趣味
最近その機会はありませんが、カラオケとギターが好きです。

◎ごあいさつ

調和のとれた御前崎市の発展に向けて皆様の架け橋として専心頑張ります。



初代副議長
片淵一孝

旧御前崎町議
平成11年初当選（3期）
元議会運営委員長

◎好きな言葉
和

◎趣味
スポーツ観戦

◎ごあいさつ

議会運営に議長を補佐し、将来に向かった新都市計画に汗を流しますので宜しくお願いします。

2常任委員会と2特別委員会

常任委員会

総務経済委員会	文教厚生委員会
総務、事業、会計、監査委員等	市民、水道、教育、病院等
◎揚張 正 ○岡村 勝	◎曾根紀久雄 ○後藤 憲志
曾根 宏 柳沢重夫	長嶋雄一 片淵一孝
阿南澄男 杉浦謙二	松林秀一 水野克尚
西島昌和 大澤 満	清水澄夫 岩瀬初代
若杉泰彦	増田雅伸

議会運営委員会

議会運営、会議規則、委員会条例、議案・陳情審査等			
◎阿南澄男 ○曾根 宏	長嶋雄一 松林秀一		
片淵一孝 曾根紀久雄	揚張 正 水野克尚		

特別委員会

原子力対策特別委員会	総合開発計画策定特別委員会
原子力発電の調査研究等	総合開発計画の調査研究等
◎曾根 宏 ○阿南澄男	◎長嶋雄一 ○後藤 憲志
長嶋雄一 揚張 正	阿南澄男 柳沢重夫
柳沢重夫 松林秀一	曾根 宏 松林秀一
杉浦謙二 岡村 勝	杉浦謙二 岡村 勝
西島昌和	西島昌和

◎：委員長 ○：副委員長

臨時議会

平成十六年四月三十日臨時議会が開催されました。正副議長の選挙が行われ、議長に柳沢重夫氏、副議長に片淵一孝氏が当選しました。市長から提出された暫定予算や条例・規約等の議案が上程され可決されました。

定例議会

また六月定例議会も六月十日より十三日間の会期で開催され、市長の施政方針演説が行われ、提出された平成十六年度一般会計予算や助役の人事案件等三十一議案及び議員発議一件、報告三件、選挙二件について、いずれも原案どおり可決（同意）されました。市政に対する一般質問には十一人の議員が市長の見解をたどしました。

一般質問

石原市長の施政方針が表明される

- 開かれた市政の実現
- 対話のあるまちづくり
 - ・住民本位の地方自治を確立
 - ・地元産業の育成と雇用の拡大
 - ・人づくり教育
 - ・医療福祉の充実
 - ・安心して安全なまちづくり
 - ・観光の振興



11名が登壇・市政を問う

行政改革について

問 旧浜岡町、旧御前崎町には、それぞれ行財政改革大綱が策定され行革が推進されておりました。究極の行革といわれる合併が四月に行われ、新市の発足により、旧二町の行政組織、各種団体の統廃合により、行財政改革が大きく前進したと思われませんが、さらにこの新市発足と共に定数管理、経常的経費、民間委託行政事務等々の見直しを含んだ行政コストの低減と組織のスリム化、行政サービスの向上に向け、行財政改革を進める事が急務だと思いますが、市長のお考えは

答 両町の行政改革大綱につきましては、平成八年に策定され、その大綱に基づいて積極的に行財政改革を推進するため、それぞれ、数値目

標を掲げた実施計画が平成十二年度から実施されてまいりました。今後は合併を契機に、「御前崎市」としての行政改革大綱を含めた実施計画を検討する必要があるかと思えます。市町村合併が究極の行財政改革であると言われておりますが、近隣町に先駆けた今回の合併であります。合併の基本原則は、「サービスは高く、負担は低く」といわれるように市民にとって不利にならないように努め、特に職員の数については、全国類似団体を参考に適切な職員管理に努めていきたいと考えています。また、多様化する行政サービスについても新しい指定管理者制度に見られるように民間の積極的な導入、情報化時代を迎え効率的なシステムの構築、補助金等の見直しを含め投資効果のある行財政運営を図っていく。

阿南 澄男 議員

御前崎市政の
運営方針について

問 選挙戦を勝ち抜いた責任や期待は、非常に重いものがあります。今後どのような新しいまちづくりをしていく考えか具体的に聞かせください。また、市民の声にどのように対応していくのか、開かれた市政の完成に向けてどのように応えるのか

答 選挙戦を通して多くの市民から学んだことは、「開かれた市政」を望んでいることです。このためには、市民の心を真っ向からお受けして、「対話のあるまちづくり」を主眼にし市民参加による住民本位の地方自治確立、福祉の充実、民生の安定向上を目指し誰もが住みたくなる市政に全力で取り組んでまいります。

問 相良町との合併協議会設置について

答 署名された方々のご意見は重く受け止めますが、現在の状況ですと、相良町、榛原町合併協議会の状況を見守りたいと考えております。相良町民の混乱を招く結果にもなりかねませんので、相良町の執行部、議会の真意、考え方も慎重に見極めて参りたいと考えております。

問 議会図書室設置について

答 地方自治法第百条の規定で議会は議員の調査研究に資するため、図書室を設置するようになっているので、本庁舎や出先機関の配置を再検討する中で調整したい。

消 防・防 災

問 団員の確保が困難な状況下で分団編成と団員数を見直す考えは

答 今回の合併において、旧二町の特徴を配慮した形で、新たに組織編成をしました。団員確保が難しくなりつつある現状を踏まえるとともに、それぞれの地域の消防・防災力を勘案しながら順次見直しも検討します。

問 消火活動における危険物等に対する団員の安全確保は

答 消火活動には、消防署、消防団が共同の現地対策本部を設置し相互連携のもとに活動することで安全確保を図ります。

問 活動に対する団員負担の多い中、待遇改善は

答 本年から訓練手当てを新設しました。これからも大規模災害の発生が予想される中、一層の充実を図るべく検討します。

問 発電所内火災における広報・職員の対応は

答 火災発生及び鎮火時に同報無線により広報し、ただちに職員を現場に派遣し現状把握の後必要に応じて「浜岡ケーブルテレビ」を使用した住民広報が必要であると考えます。いずれにしましても、住民にいち早くお知らせし安心して頂ける様努力します。



福祉事業

問 住民の声に答えた福祉循環バスを運行する考えは

答 平成十二年に福祉タクシーと循環バスを比較検討し福祉タクシーで実施しています。現在の制度に課題があることも承知してはいますが、特に病院等に近い人と遠い人との制度利用に格差があることで検討した結果、同時に二枚使用できるように制度改正を進めておりました。しかし合併前に旧制度の説明をさせていただきましたので、混乱を避けるために本年度は旧制度で実施させていただき、福祉タクシーの見直しと合わせて循環バスを運行している市町村を視察したり幅広く研究していきたいと思えます。



明るいまちづくり

問 防犯灯の維持管理に対する考えは

答 本年五月末現在の町内会より三十五件要望があり、それなりに市として対応しております。防犯灯は地域の安全のために地域の皆様が考え、設置して頂くものです。尊いご負担をいただく中、市でも維持管理に補助する現在の制度を続けていきます。

問 教育長・教育委員不在は行政として問題では

答 委員の任期については新市長が最初に招集する議会の会期の末日となっており、実際は四月三十日まで教育委員会委員の人事案件が提案されればいい訳ですが、市長選挙後十日足らずで人事等を調整するのは大変困難でした。

問 市採用の臨時職員の職務内容と残業手当の問題は

答 業務によってやむなくお願いしている職員については当然時間外手当を支給しています。地方公務員法や労働基準法を参考に臨時職員の身分を補償しながら勤務条件を整備し今後改善すべきところは検討します。

問 原発に対する今後の課題と新エネルギーへの取組は

答 原子力発電は安全確保が大前提であって、地元住民

の理解と協力が得られて初めて成り立つものであり、市としては地域住民に不安を与えることの無いように安全管理、安全運転に万全を期し透明性の向上に努力してもらいたいと考えています。また、住宅用太陽光システムを全市的に適用していくための予算計上をしました。さらに風力発電の可能性について調査します。

問 ヨウ素剤の全戸配布と、学校、幼稚園、公民館への分散配置は

答 服用に十分な注意と管理保管も的確に行わなければならない。現時点で御前崎市と近隣三町、御前崎、菊川、榛原の三病院、県健康福祉センターの榛原、掛川に分散配置されています。地域住民の安全を第一に原子力行政を推進してまいります。

行政サービスの向上

問 来庁者がわかりやすい窓口を設置する考えは

答 住民の皆様には「暮らしの便利帳」で新課名及び業務内容について詳細にお知らせいたしました。お出かけ前に事前にお調べいただければ大変ありがたいと思います。また役所内の課の配置につきましても、適所に案内表示板を設置させていただきました。組織の拡大によりご不明な点或いはご不便をお掛けすることがあるかと思いますが、ご理解をお願いいたします。

行政問題

問 誘致企業に対する勧誘方法や優遇措置は

答 県と連携し、企業誘致の情報提供や企業の紹介、企業立地ガイドのパンフレットを作成し、東京事務所や大阪事務所を通じての企業訪問活動の実施、工業用地や電源補助制度等をインターネットで全国に発信しています。都圏の企業を招いてセミナーを開催する計画があります。用地の先行取得や造成、税の支援策等「新総合開発計画」を策定する中で検討してまいります。



行政アンケートを 実施する考えについて

問 市長の選挙公約に對話のあるまちづくりを目指すところでありましたが、市民の声を直接聞く行政アンケートを実施するお考えはありますか

答 市民の声を聞きながら行政を進めていきたいと思っています。行政アンケートも一つの方法だが、市政懇談会、住民懇談会等、直接市民の生の声を聞く機会を作り、對話の行政のまちづくりを進めたいと考えている。

公共バス、 スクールバスの 目的外利用について

問 市所有の大型バス四台はわずかな時間しか使用されていないが、多目的に利用することが出来ないのか

答 市所有バスは、使用目的を明確に規定しており、運送業法上、自家用の位置付けの車なので、法厳守の観点から市の事業での使用に限定している。台数が限られた中で、類似の目的や団体の依頼に対し利用許可、不許可による不平等又、許可行為への不透明感を払拭するためなので理解してほしい。しかし、利用率を向上させる努力は重要なので空き時間の利用については検討していきたい。



公共施設の活用について

問 四月一日、御前崎市が誕生し、行政機関が本市役所（旧浜岡町役場）に集中したために、旧御前崎町の公共施設が有効に活用されていない現状があります。御前崎支所又は、御前崎保健センター、御前崎ふれあい福祉センターなどの公共施設を今後どのように活用していくのか

答 四月の合併により、旧浜岡町役場を本庁舎とし、旧御前崎町役場を支所とする、いわゆる「本庁方式」でスタートしました。

新御前崎市として、これらの公共施設を有効に活用していくために、今後助役等の執行部体制が整いましたら、仮称ではありますが「公共施設等利用活用検討委員会」なるものを立ち上げて、市役所

の業務内容も含めて、有効活用を図るよう検討して参りたいと考えております。



学童保育の実施について

問 市長の施政方針の中にもありました、時間、施設、指導員等について、どのように実施していく予定なのか、具体的なお考えをお聞かせください

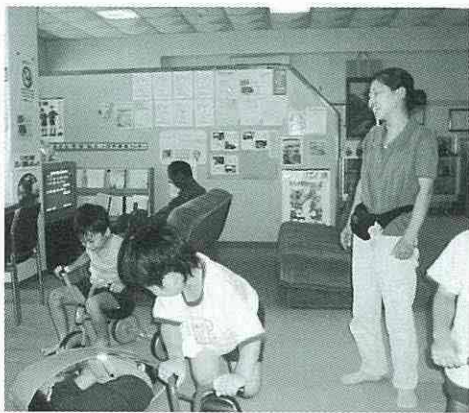
答 旧御前崎町では、放課後児童クラブとして、実施されているが、市全体として統一した基準を作り、学校、教育委員会と連携を執りながら進めていきたい。利用希望者を再度募り職員の募集等を行い現行の職員の意見を聴きながらまとめていきたい。

防犯ブザーの配布について

問 子供達の安全対策強化のために全国市町村で防犯ブザーを配布するところが増えているが、市で配布する考えはありませんか

答 各学校、幼稚園では、独自で不審者対策マニュアルを作成し、訓練を実施している。校内だけでなく、登下校や帰宅後の安全指導も行っている。使用の難しさやいざという時の使用が効果的か疑問視する声もある。

それよりも、警察へのパトロールの協力要請や同報無線での呼びかけ、地域で見守る体制づくりを行い、自分の身を守る心構えや技術を身につける機能を高めていきたいと考えている。



旧両町民の交流・公民館活動への支援

問 旧両町民の積極的な交流を図り、御前崎市民としての一体感を持つための施策は

問 公民館の特色ある活動への支援は

答 前段の二質問は同一の質問と受け止めます。市民一体感の施策として、市民全員が参加できる市民体育大会の開催、市民の文化芸能事業の発表会等、関係方面のご協力を頂き推進します。公民館活動への支援については、両町とも永い歴史と文化を持っており貴重な歴史と文化は、次世代に引き継ぐ大切な財産であります。各公民館ごと、今一度地区を見直すことが肝要と考え地区民のニーズに答える公民館活動の支援を行政として進めなくてはなりません。文化伝承の

活動拠点としての公民館活動の活性化を図ることを支援と捕らえ、併せて公民館活動の充実が「新市民の一体感」を持つ施策の推進につながるものと考えます。

タウンミーティング

問 対話あるまちづくりの実現にむけてタウンミーティングの今後の方針と予定は

答 私の市政運営の基本は開かれた市政の実現であり、具体的には対話のあるまちづくり風通しのよい行政運営を心がけております。この観点から具体的なスケジュール等は助役等の執行部体制を整えまして早急に実施時期等も検討して参りたいと思っております。

総合計画策定について

問 将来を展望した総合計画を策定するに当たり、地域格差を生じないよう配慮した、地域振興施策を展開することが大切と思うが考えは

答 旧両町では高齢化率もとより、産業構成、生活環境条件等の格差があります。旧両町との格差、地域内では中心地、周辺地域との実情を把握し、アンケート調査等を実施し市民の意見を反映した「総合計画」の策定を進めます。

問 外から人を呼び込む施策交流人口を増加させ、各地域の魅力を生かした住民参加の元気な産業づくりに対する考え方は

答 地域の立地条件、特性

を生かした新たな施策展開が求められています。今後各産業間との連携、方向性について意見を聞きながら、企業誘致と元気な産業づくりを「総合開発計画」の中で取り組んで行きます。



問 高齢化社会の一環として歩道や交通危険箇所交通安全施設を優先して市民が安全安心して暮らせる環境づくりに対する考え方は

答 高齢化に対する交通安全施設整備につきましては地権者等の難しい状況もありますが、新たな道づくりや拡幅改良する道路については、歩行者の安全を優先に、交通安全施設の充実に努めてまいります。



委員会報告

委員会で審議された中で、特に質疑の集中したものをピックアップしました。

総務経済

委員会

問 歳入について、繰入金のうち基金入金について二百億円の歳入予算のうち十三億円を財政調整基金から繰り入れているが基金の積み立て金額の目安、あるいは指針はあるのか

答 特にありません。本年度に引き続き十七年度も厳しい財政を覚悟しなければならぬと思われまます。

問 市税に関して、滞納ほどの位あるのか

答 現在約五億二千五百万円、件数にして三千二百四十五件です。

問 歳出について、総務管理費のうち委託料、使用料及び賃借料、備品購入費の未払い金の内容説明を

答 それぞれ合併に伴う、準備の為の経費及び事務用品の購入費です。



問 企画費のうちの計画策定業務委託料六百万円の内容は

答 基本調査費三百万円、合併記念イベントの経費三百万円です。

問 望月基金積み立て金の説明を

答 御前崎の望月塗工さんよりの寄付金で、昨年までの国際交流基金に当たるものです。使用目的は小、中、高校生の海外研修の助成です。また、対象地区は御前崎市全域です。

問 御前崎埠頭(株)に対して御前崎市以外の出資業者と金額は

答 御前崎港運八百五十万円、鈴与(株)一千四百五十万円、静和海運三百五十万円、アオキトランス百万円、新興港運百万円、御前崎港外材協同組合七百五十万円、合板工業組合五百五十万円です。

問 植栽管理委託料の内容の説明を

答 二社に委託している三カ月の管理委託料です。

問 同じく植栽管理業務委託料の箇所別内訳はどのようになっているのか

答 荒沢公園二千六百七十万円、高松みどりの森公園七百万円、八千代公園、長者公園、神子公園などに九百万円、中町保全林四百十万円、本町保全林二百四十万円、東町保全林三百万円などです。



問 海外研修生受け入れ事業委託の内容説明を

答 平成十四年度から実施している事業で、期間は原則一年間です。船主同盟会が中心となって漁協に委託して事業を行っています。

問 商工会補助金が計上されているが、今後の観光協会の運営の方向付けは

答 一本化を計る方向で検討している。暫定的に一年間は市長に協会長をお願いし、事務所をなぶら館の中に置く。七月二日、五日に行われる双方の総会の中で協議していただくことになっている。

文教厚生委員会

問 福祉タクシーについて説明を

答 混乱をしないように現状の

ままでスタートするが、今後は一人二枚使用できるように検討していきたい。また、福祉循環バスの運行も検討している。

問 学童保育について、第一小学校に集中するのではなく、各小学校でも要望は強く、市民も期待しているので期限を切り計画性をもって進めるべきではないか

答 全体的にバランスをとり検討していきたい。建物は空き教室を利用していきたい。

問 学童保育行政の窓口は、保育にあたる指導員の対応は

答 行政窓口は、社会福祉課に一本化し、指導員については申請する児童数によるが、最低一カ所で二名必要のため申請者の把握に努めたい。児童数に応じた指導者数の決まりは特にな



問 中東遠看護専門学校組合に、三千百万円の負担金を出しているが、この学校より市立御前崎病院への看護師採用の状況は

答 平成十三年度は四人、十四年度は六人、十五年度は三人の就職実績があり、今年度も引き続き募集して看護師の確保に努めていく。



問 幼保一元化で計画を立て一貫性を持って取り組むべきでは

答 今まで二年間で結論は出ていない状況だが、地区により異なることのないように統一した方法で方針を決めて早急に進めていきたい。

問 消防団の編成について適正な人員で、適正な配備をすべきと思うが市の考えは

答 平成十九年度を用途に減員を考えているが、歴史的経緯もあるもので、消防団と共に考えていきたい。

問 国民健康保険特別会計では、保険税の徴収状況は

答 五月末現在で御前崎で二百八十四世帯、旧浜岡関係で二百二十九世帯で、未納額は合計で二億二千万円余です。

問 下水道事業特別会計の関係では、加入率向上の努力をしているか

答 現在の加入率は五十七パーセントで職員が説明会等行っている。本年度は教育委員会と連携して、児童の下水処理施設の見学会を実施して、公共下水の理解を深めていただき、家庭における親子の話し合いを通じて意識の向上を図れるよう計画している。



問 水道事業特別会計の関係では、水道料金滞納状況は

答 六月十日現在で、平成六年度以降旧浜岡分三千三十四件、旧御前崎分二千二百五十五件、合計五千二百八十九件あり未納合計は五千六百万円となる。滞納者には督促状を送り徴収に努めているが、悪質者には、停水処分も検討している。

問 市立病院事業会計では、資産購入費で一億四千八百万円計上してあるがどのような機器を購入するのか

答 主な機器は老朽化による買い替えて、一般撮影装置が四千万円、透析用水処理装置二千万円と新規レクセル定位脳手術装置が四千万円などであります。



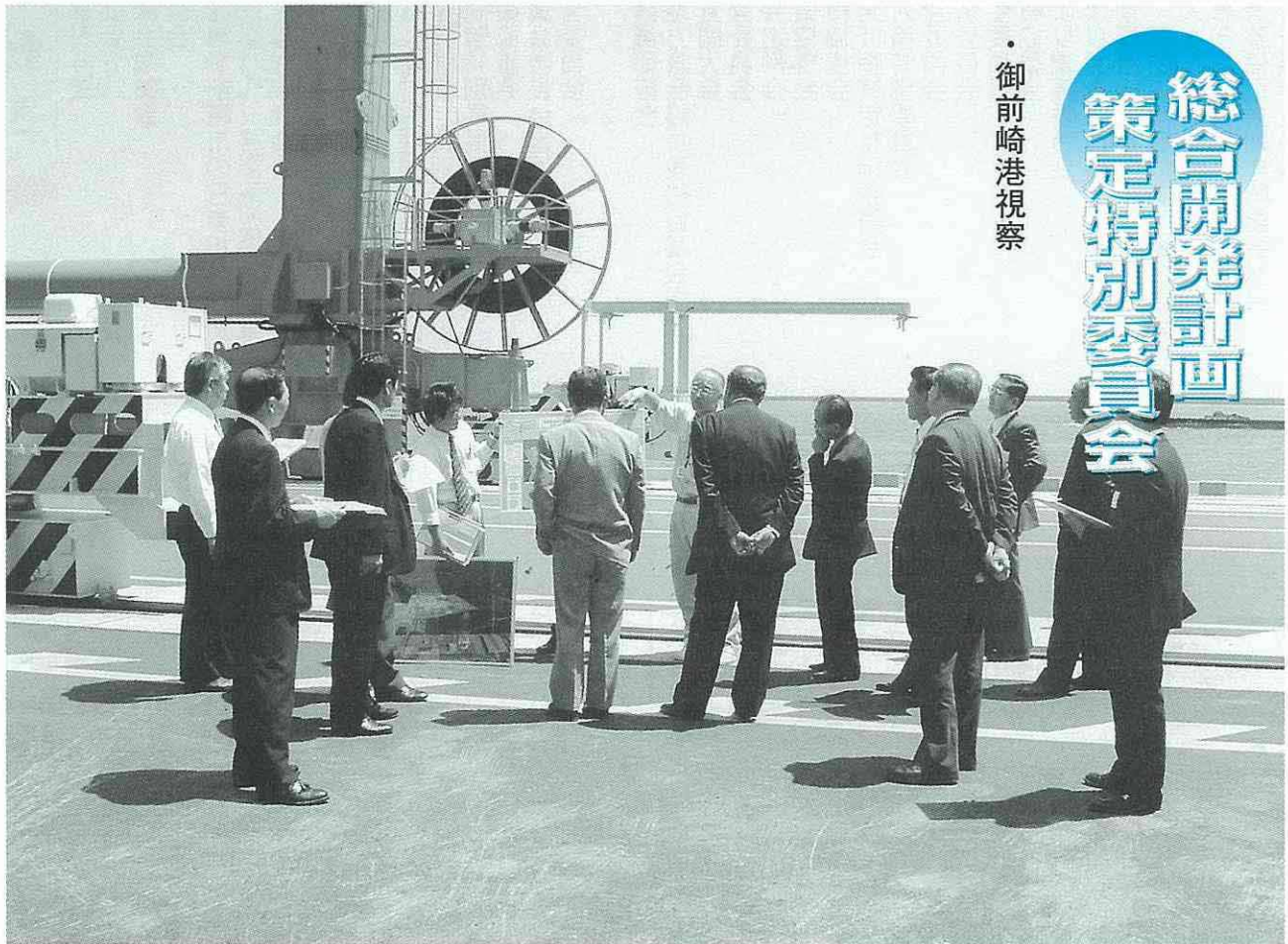
問 医師の確保については

答 現在、常勤医師は二十七名で、本年四月に自治医大より二名の医師を迎えたので状態は良くなっている。十月には、産科医師一名を迎える予定をしている。内科の医師が足りないが、専門的な医師より一般的な医療ができる医師を確保していきたい。

その他、女性外来の設置、電子カルテの導入等の希望を含め質問がありました。

原子力対策 特別委員会

- ・ 国のオフサイトセンター視察
- ・ 県の環境放射線監視センター視察
- ・ 国の原子力政策について講演



総合開発計画 策定特別委員会

・ 御前崎港視察



第14回 砂丘コネクション

(平成16年6月26日 撮影)

議会の動き

6月										5月			4月																	
28	30	30	29	28	25	22	18	17	16	14	11	10	22	7	6	3	2	28	25	24	21	19	18	17	14	8	30	22	19	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
市議会議員研修会 静岡県地方議会議長連絡協議会総会 消防団査閲大会 議会運営委員会 六月議会定例会 議会全員協議会 議会全員協議会 総合開発計画策定特別委員会 原子力対策特別委員会 議会運営委員会 総務経済委員会 文教厚生委員会 議会全員協議会 議会たより編集委員会 相寿園管理組合議会 相良町・御前崎市広域施設組合議会 小笠老人ホーム組合議会 原子力総合防災訓練参加 御前崎港整備促進期成同盟会総会 議会たより編集委員会										建設促進期成同盟会総会 総合開発計画策定特別委員会 原子力対策特別委員会 議会全員協議会 全国市議会議長会定期総会 議会運営委員会			志太榛原地区国道一五〇号バイパス 建設促進期成同盟会総会 総合開発計画策定特別委員会 原子力対策特別委員会 議会全員協議会			有線放送電話運営協議会 議会運営委員会		掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会総会 CATV運営協議会			浜名湖花博御前崎市の日参加 掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会総会 CATV運営協議会		議員懇談会 第一回議会臨時会 議員懇談会		当選証書付与式 議員懇談会					

編集後記

去る四月一日、新市「御前崎市」が誕生し最初の市長、市議会議員選挙が執行され、十八人の議員の顔ぶれが決まりました。御前崎市船出の大切な年であり、将来に向かって、大きく発展前進出来ます様、一生懸命頑張る所存です。

今回の議会だよりは創刊号となります。編集委員も新しいメンバーです。トしました。できるだけ詳しく市民の皆様の親しみやすい情報提供をしていきたいと思えます。

編集委員会



- 若杉泰彦 委員長
- 西島昌和 副委員長
- 片瀨一孝 委員
- 大澤満
- 岩瀬初代
- 増田雅伸